

# 銀河レポート401

No. 45  
2月号

発行日：平成31年2月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリウム  
電話：059-355-2700  
HP：http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html

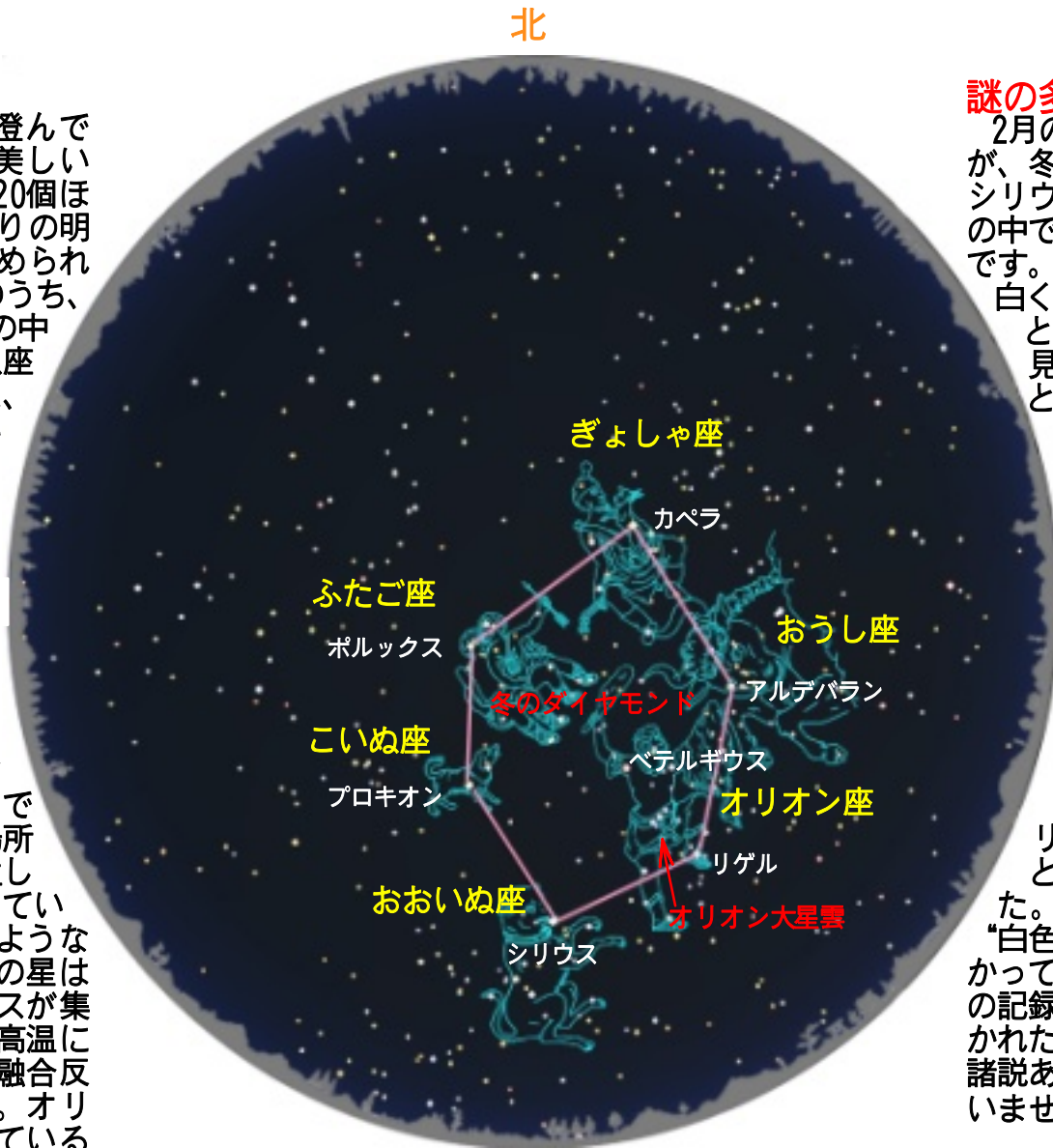
## 2月の星空

### 冬のダイヤモンド

冬の星空は明るい星が多く空気が澄んでいることもあって、他の季節よりも美しいといわれます。夜空の特に明るい星20個ほどを「1等星」、肉眼で見えるぎりぎりの明るさの星を「6等星」として等級が決められています。全天で20個ほどある1等星のうち、冬の星座の中には7個もあります。その中から、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルクス、ぎよしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、オリオン座のリゲルの6個の1等星を線でつないだ六角形が「冬のダイヤモンド」です。

### オリオン大星雲

オリオン座の中央部分にある「三つ星」の下方に縦に星が三つ並ぶ「小(こ)三つ星」が見られます。この小三つ星の真ん中あたりをよく見ると、ぼんやりとした雲のようなものが見えます。「オリオン大星雲」です。ここは水素ガスが集まっている場所で、「トラペジウム」と呼ばれる誕生して間もない星が、周りのガスを照らしているため明るく輝いて見えます。このような星雲を散光星雲といいます。すべての星はガスの中から生まれました。水素ガスが集まってかたまりとなって中心温度が高温になると、水素がヘリウムに変わる核融合反応が起こって星が誕生していきます。オリオン大星雲は、まさに、星が誕生しているところです。



2月15日21時の星図

北  
南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

### 謎の多い星 シリウス

2月の南の夜空にひときわ明るく輝く星が、冬の大きな三角のひとつ、おおいぬ座のシリウスです。全天にある星座を作る星の中で一番明るい恒星(マイナス1.5等級)です。明るいので大きく見え、また、青白く輝いているので、日本では「大星」とか「青星」、中国ではオオカミに見立てて「天狼星(てんろうせい)」と呼ばれました。古代エジプトでは、日が昇る直前にシリウスが出現する最初の日を年の初めとし、ナイル川の氾濫を知らせる重要な星として崇拝されていました。また、おおいぬ座にあることから、英語では「ドッグスター(犬の星)」とも呼ばれています。ところで、シリウスは奇妙な固有運動をしており、その原因は長い間、謎でした。19世紀になって、その動きの原因が、大変明るいシリウスAと大変暗いシリウスBの連星によるものであることが望遠鏡の進歩から解明されました。現在では、シリウスBは高密度の「白色矮星(わいせい)」であることがわかっています。また、古代ローマや中国の記録には、シリウスは「赤い星」と書かれたものもあり、その原因については諸説あるものの、まだ、謎は解明されていません。

## 宇宙塾 第4回「月に挑む！」

1969年にアポロ11号が人類初の月面着陸を成し遂げてから50年を経て、世界は再び月を目指しています。世界の月探査計画の最新情報や月探査の魅力について、詳しく紹介します。



講師：大竹 真紀子氏 (JAXA助教)

日時：2月9日(土)

18時30分から20時(開場18時15分)

場所：5階 GINGA PORT 401(プラネタリウム)

定員：140席

※当日9時30分から1階総合受付にて座席券を配布(1名様につき1席分まで)

料金：無料

※中学生以下は保護者同伴

## 博物館主催観望会 報告

### 〈部分日食観望会〉

1月6日(日)9時~11時30分に、博物館前市民公園で部分日食の観望会を実施しました。残念ながら当日の天気は曇りでしたが、雲が薄くなった時間帯をとらえて、日食メガネ等を使って、欠けた太陽の姿を観察することができました。



## 2月のガリレオ教室

### 〈「はやぶさ2」のひみつ〉

小惑星探査機「はやぶさ2」が2月下旬に小惑星リュウグウへのタッチダウンに挑戦します。この「はやぶさ2」の飛行のしくみにつて、天文ボランティアがわかりやすく解説します。

〈日時〉

2月10日(日)

①11時から11時20分

②14時から14時20分

〈場所〉

5階コズミックラウンジ



## ★★観望会★★

### 《天文ボランティア主催観望会》

日時：2月9日(土)

時間：17時30分から19時

場所：博物館前市民公園

内容：月や火星を観察しよう

※天候不良時は中止です。

※当日は自由参加・無料です。

※きらら号は出勤しません。

### 《博物館主催きらら号観望会》

日時：2月23日(土)

時間：18時30分から20時

場所：博物館前市民公園

内容：火星と冬の大きな三角をさがそう

※天候不良時は中止です。

※当日は自由参加・無料です。

## 2月の月

5日



新月

13日



上弦

20日



満月

26日



下弦

## 編集後記

「いよいよリュウグウが牙をむいてきた」とは、はやぶさ2プロジェクトマネージャー津田さんの昨年の秋の言葉です。一度立ち止まって時間をかけて様々に対応を検討した上で、満を持していよいよ小惑星への着陸、タッチダウンに挑戦します。「この冬一番の寒さ」が続く2月ですが、はやぶさ2の熱い挑戦が始まるワクワクする2月となりそうです。